

■「女たちのころみ」開催 17回目を迎える

6月11日(土)、佐渡の能を識る会が主催する「女たちのころみ」が金井能楽堂で開かれ、150人を超える来場者がありました。

上演前に「茅の輪」セレモニーが開かれ、西川宮司が祝詞を上げた後、来場者が「8の字」の定式に則り茅の輪をくぐって会場に入っていました。

オープニングは、小学生の仕舞による太鼓乱調「神・男・女・狂・鬼」から始まり、佐渡民話語り部の会の吉田純子さんは、佐渡民話「三年寝太郎」を披露しました。続いて、女性のみが所属する人形座・常盤座は、文弥人形「吉野都女楠～二段 麦盗人の場、小山田太郎討死の場～」を上演し、人形な繊細な動きと、鮮やかな舞台転換で来場者を楽しませていました。最後は、新穂春駒クラブの賑やかな佐渡民俗芸「女春駒」で閉幕しました。



■本間社中「40周年」記念公演開催

6月19日(日)、佐渡民謡愛好会 本間社中「40周年」記念公演が、アミューズメント佐渡で開かれました。

会主の本間久雄さんは、「本間社中は、流派を超えて子どもから大人まで大勢の人たちが民謡を楽しむ会として活動してきました。」と、40年の活動を振り返りながら挨拶しました。

この日は、第一部が本間社中の会員、第二部が秋田県から駆け付けた「梅若流梅若会」による公演という2部構成で進みました。

「トライ塾民謡クラブ」という子どもたちによる民謡をはじめ、「金北民謡の会」や「佐渡こがね会」などによる地元に伝わる民謡が次々と披露されました。

本間社中では、今後も盆踊りや各地のお祭りのほか、老人ホームでの公演など仲間を集いながら活動を継続していくとのことです。



佐渡人形芝居保存会定期公演開催

開 催 日：7月17日(日)13:30～15:30
会 場：マリンプラザ小木大ホール
定 員：80名(要事前申込・先着順、自由席)
運営協力費：1,000円(高校生以下無料)
出 演 座：大和座・常盤座・大崎座
(問・申込) (一財) 佐渡文化財団 ☎0259-58-9112



■佐和田中学校1年生が佐渡おけさを演奏！

6月22日(水)、佐和田中学校で佐渡おけさの授業が行われました。佐和田中学校ではこれまでも踊りの練習をしていたそうですが、今回は楽器の演奏にも挑戦しようと、当財団所有の三味線と締太鼓を貸し出しました。講師は地元の民謡団体である「なぎさ会」の皆様がぜひ協力したい、と快く引き受けてくださいました。

太鼓パートではバチの持ち方や太鼓の叩き方、三味線パートでは重要な繰り返し部分のリズムを教わり、生徒たちは「難しい」と言いながらも、手元を見比べながら、1人1人が真剣な表情で練習に取り組んでいました。何度も繰り返し練習し、最後の全員合奏では、講師陣の演奏と生唄、生徒たち全員の楽器の音が合わり、1つにまとまった佐渡おけさはとても綺麗な音色でした。

会長の土屋さんは、「練習していくうちに楽しさや魅力がさらに増してくる。興味のある人はぜひこれからも続けてみてほしい」とおっしゃっていました。

当財団は次世代継承の活動を応援しています。講師派遣事業や楽器貸出事業など、学校や保育園などの活動にぜひご活用ください。



■「夜の御前踊り」開催

佐渡世界文化遺産登録祈念として下記のとおり開催されます。

・日程：令和4年7月9日(土)、16日(土)、30日(土)
8月11日(祝・木)、12日(金)、13日(土)、14日(日)、20日(土)

・時間：20:30~21:30

・会場：京町通り～佐渡奉行所

※佐渡奉行所に入場される場合のみ、協力金として要500円。

※雨天時、佐渡奉行所のみ実施



佐渡の文化・芸能を支援する、賛助会員を募集しています!!

佐渡文化財団では、研究・調査、文化・芸能の普及活動等をご支援いただける賛助会員を募集しています。賛助会員には特典として、ニュースレターなどの情報提供や特製2022カレンダーを贈呈いたします。

会費は個人1口2,000円、団体・法人1口5,000円です。何口でも、お申し込みいただけます。ご賛同いただける方のご支援をお願いいたします。



○和楽器を貸し出しています。和の音に触れてみませんか。

○民謡など語り、指導にあたる講師を派遣しています。

○民謡や鬼太鼓などで培われた民芸品などのアイテムを通信販売しています。

